

# 授業概要

分野		学科目		1年前期		90分講義 15回 (試験を含む)
専門基礎分野		体の機能と疾病IV		30時間	1単位	
授業科目				講師		
脳・神経、運動器				専任教員(実務経験者)、医師		
科目目標	1. 体の枠組みを作り、力を発揮するシステムがわかる。 2. 刺激を伝達し、情報を処理・指令するしくみがわかる。 3. 脳神経系疾患・運動器疾患の病態・検査・治療について理解する。					
	回数	項目	内容			
科目内容	1	刺激を伝達し、 情報を処理・指令する	1. 情報を集めて脳に伝える 1) 物事を認知過程から行動する過程 2) 感覚器系 3) 神経伝達物質 4) 脊髄、伝導路			
	2		2. コントロールタワーとしての働き 1) 大脳の構造と機能 2) 脳幹のしくみとはたらき 3) 間脳のしくみとはたらき 4) 小脳のしくみとはたらき			
	3		3. 体のすみずみに情報を伝える(末梢神経) 1) 運動と感覚機能をつかさどる12の神経 2) 自律神経			
	4	体の枠組みを作り、 力を発揮するシステム	4. 脳と神経系の栄養と保護 1) 頭蓋骨と頭蓋内圧 2) 脳脊髄液 3) 脳血管系:脳循環			
	5	運動器疾患	1. 体を動かす仕組み 関節可動域と関節運動、筋収縮のしくみ、力を発揮するメカニズム、 意図的な運動・意図的でない運動			
	6		2. 日常生活での基本的な動き、動作と生活への影響 移動動作など下肢の動き、作業など上肢の動き、姿勢の保持、表情			
	7	脳・神経内科疾患	1. 運動器疾患の主な病状と病態生理 1) 疼痛 2) 形態異常 3) 関節運動異常 4) 神経障害			
	8		2. 外傷性運動器疾患の理解(検査・治療・処置を含む) 1) 骨折 2) 脱臼 3) 捻挫 4) 筋・腱・靭帯の損傷			
	9		4. 内因性運動器疾患の理解(検査・治療・処置を含む) 1) 骨・関節の炎症性疾患 2) 腫瘍 3) 脊椎の疾患			
	10	脳・神経外科疾患	1. 主な症状と病態生理 1) 意識障害 2) 高次脳機能障害 3) 運動機能障害 4) 感覚機能障害 5) 嚥下障害 6) 頭蓋圧亢進症と脳ヘルニア			
	11		2. 疾患の理解(検査・治療を含む) 1) ニューロパチー、ギラン・バレー症候群 2) 筋ジストロフィー、重症筋無力症			
	12		3) 多発性硬化症、パーキンソン病、パーキンソン症候群、筋萎縮性側索硬化症 4) 脳炎・髄膜炎 5) てんかん			
	13	まとめ	1. 脳血管障害による疾患の病態と治療 (開頭術、脳血管内治療、V-Pシャントなど)			
	14	まとめ	1) クモ膜下出血 2) 脳出血 3) 脳梗塞 4) もやもや病			
	15	試験	2. 頭部外傷の病態と治療 1) 急性硬膜外血腫 2) 急性硬膜下血腫 3) 慢性硬膜下血腫 3. 脳腫瘍の病態と治療			
【授業形態】 講義						
【評価方法】 筆記試験、出席状況						
【テキスト】 ナーシンググラフィカ解剖生理学 人体の構造と機能① メディカ出版 脳・神経疾患:系統看護学講座 成人看護学7 脳・神経 医学書院 脳・神経外科:系統看護学講座 臨床外科看護各論 医学書院 運動器疾患:系統看護学講座 成人看護学10 運動器 医学書院						